



札教生第 8002 号

平成 26 年（2014 年）12 月 16 日

札幌市 P T A 協議会

会長 川端 美樹 様

札幌市教育委員会

教育長 町田 隆敏



平成 27 年度「札幌市文教施策に関する要望書」への回答について

初冬の候、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から本市の教育行政に格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成 26 年 10 月 27 日付けで提出がありました標記の要望書につきまして、別紙のとおり回答いたします。

札幌市PTA協議会

「平成27年度札幌市文教施策に関する要望書」に対する回答書

：関係課

要望内容	回 答
(1)学校教育に関して	
【少人数学級に関して】	
<p>1 きめ細かな指導実現のため、小中学校全学年において、少人数学級（35人以下）の早期実施を切望いたします。</p>	<p>少人数学級につきましては、これまでも、国及び北海道教育委員会に対して要望しているところです。</p> <p>この度の40人学級に戻すという国の動きを受け、平成26年11月26日に本市が会長を務める北海道都市教育長会が、北海道教育委員会に対し、小中学校における35人学級の継続・拡充等を緊急要望したところです。今後も国や北海道教育委員会の動向を注視しつつ強く要望していきたいと考えております。</p> <p>教職員課（人事担当）</p>
【教員に関して】	
<p>1 少人数指導の充実を図るため、加配教員（TT教員等）の増員を希望いたします。</p> <p>2 専門的な視野からの指導実現のため、小学校における専門教科教員（音楽、体育、図工、家庭科など）の配置を希望いたします。</p>	<p>加配教員の配置につきましては、北海道教育委員会の基準により行っております。</p> <p>各学校の事情を踏まえ、北海道教育委員会に加配を要望しており、今後とも強く要望していきたいと考えております。</p> <p>教職員課（人事担当）</p> <p>教員の配置につきましては、北海道教育委員会の定めた教職員定数配置基準により行っております。</p> <p>なお、昨年度から専科加配として理科で2名を配置しています。</p> <p>教職員課（人事担当）</p>
【英語教育に関して】	
<p>1 英語教育の充実を図るため、ALTの派遣時間増を希望いたします。</p>	<p>本市のALT（外国語指導助手）につきましては、毎年、計画的に増員を進め、平成26年度は5名を増員し総数78名となっております。</p> <p>小学校については、ALTとの授業回数の均等化とともに配置日数の増加を図っているところです。中学校については、通年配置対象校を4校から6校に増加したところです。</p> <p>今後につきましても、小学校及び中学校におけるALTの活用の充実を図ってまいります。</p> <p>教育推進課（研修担当）</p>

<p>【スクールカウンセラーに関して】</p>	
<p>1 すぐに対応できる体制づくりのため、スクールカウンセラーの増員と配置時間増を希望いたします。</p>	<p>スクールカウンセラーの配置時間については、早期からの相談を充実するため、小学校への配置時間の拡充とともに、大規模中学校における配置時間の拡充を検討しているところです。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課（児童生徒担当）</p>
<p>【特別支援に関して】</p>	
<p>1 支援を必要とする児童生徒に的確に対応するため、加配教員の適切な配置（増員）を希望いたします。</p> <p>2 通級希望者のニーズに応じた環境整備のため、通級指導教室（まなびの教室）の増設と加配教員の増員を希望いたします。</p>	<p>加配教員の配置につきましては、北海道教育委員会の基準により行っております。</p> <p>各学校の事情を踏まえ、北海道教育委員会に加配を要望しており、今後とも強く要望していきたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">教職員課（人事担当）</p> <p>通級指導教室の教員は、国から都道府県に対して定数に加えて措置される、いわゆる加配となっております。</p> <p>加配教員は、札幌市が要求した数がすべて措置されるわけではなく、かつ、年度末に次年度の配置状況が示されることから、計画的な教室の拡充は困難な状況です。</p> <p>しかしながら、今後も、まなびの教室での通級指導が必要な児童生徒数の増加が見込まれることから、教室の拡充のため、加配教員の更なる配置について国に要望していきます。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課</p>
<p>【学びのサポーター・心のサポーターに関して】</p>	
<p>1 支援を必要とする児童生徒に的確に対応するため、学びのサポーターと心のサポーターの更なる利用時間の拡大を希望いたします。</p>	<p>学びのサポーターによる支援は、各学校における特別支援教育の推進に大きな役割を果たしております。</p> <p>これまで全校に配置可能な予算確保や、活用時間数等も各学校の実情に応じた弾力的な運用に努めてきたところです。</p> <p>しかしながら、現状において、活用時間数が十分とは言えないことから、今後につきましても、本事業の拡充について、検討して参ります。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課</p>

	<p>心のサポーター配置モデル事業は、平成24年度に開始し、配置校を拡大してきました。3年目となる今年度は、市内全中学校に相談支援パートナーを、小学校10校に相談支援リーダーを配置し、各校の実情に合わせて効果的に運用しているところです。</p> <p>本事業については、継続配置してきた学校の不登校状況の改善率が上昇している結果が報告されており、今後、不登校の子どもたちの改善状況をもとに実施効果を検証しながら、より一層支援の充実を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課（教育相談担当）</p>
<p>【スキー授業、校外学習に関して】</p>	
<p>1 家庭や学校の経費負担を軽減するため、スキー授業や校外学習等の実施に係る経費の援助を希望いたします。</p>	<p>校外における体験活動は、子どもたちに社会性や豊かな人間性等を育む上で大変有効な活動であると考えております。</p> <p>このたび国が定めた貸切バスの料金改定や、貸切バスの減便等によってバスの確保が困難になっていることについて、学校は大変苦慮しているところですが、札幌市の財政状況から、経費的支援は難しいため、保護者様の負担増に配慮し、計画的に実施するよう各学校に働きかけてまいります。</p> <p>なお、スキーリサイクル事業につきましては、市民から提供いただくスキーセットを回収する学校数を昨年度の10校から20校に増やしたことなどにより、回収したスキーセットの台数が増え、昨年度よりも多くの希望者へ提供できる見込みであり、今後とも事業の拡充に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課（教育課程担当）</p>
<p>【武道に関して】</p>	
<p>1 安全な指導環境を徹底するため、外部サポーターの導入を希望いたします。</p>	<p>柔道をはじめとする武道の授業を安全に実施するため、柔道指導の専門家等を講師とする実技講習も含めた研修会を行うとともに、柔道の事故防止に向けた通知を複数発出し安全管理の徹底を図っているところです。</p> <p>また、武道の授業における外部人材の活用につきましては、関係団体との情報交流を行ってきており、今後の連携の在り方等について検討を進めているところです。</p> <p style="text-align: right;">教育推進課（教育課程担当）</p>

【土曜日授業に関して】

1 平日の子どもの負担軽減を図るため、土曜授業の再開を希望いたします。

文部科学省は、学校、家庭、地域の三者が連携し、役割分担しながら、学校における授業、地域における多様な学習や体験活動の機会の充実などに取り組むことにより、土曜日の教育環境を豊かなものにする必要があるとし、そのための方策の一つとして、平成 25 年 11 月に学校教育法施行規則の改正を行い、設置者の判断により土曜授業を行うことが可能であるとしたところです。

札幌市教育委員会としましては、このような国が示した土曜日の教育環境の在り方を踏まえ、平成 26 年度から地域の多様な経験や技能を持つ人材・企業等の豊かな社会資源を活用したプログラムを土曜日等に学校施設等を活用して実施する「サッポロサタデースクール事業」を、モデル校において実施しているところであり、現段階としては、平日の子どもの負担軽減を目的とした土曜授業を実施する予定はありません。

教育推進課（教育課程担当）

【部活動に関して】

1 部活動の振興を図るため、指導員（教員、外部指導者）の増員と指導手当の更なる増額などの待遇改善を希望いたします。

平成 21 年度から実施しております運動部活動外部顧問派遣事業により、外部顧問を中学校 9 校に派遣しており、今後も増員に向けて検討していきたいと思っております。

また、外部指導者については、各学校において必要に応じて確保しているところですが、教育委員会としても、傷害保険を適用するなど支援をしているところです。

教員に対して支給する部活動の指導に関する手当は、北海道で定めた条例、規則等に基づいて支給しております。今後、道教委に対して要望をしていきたいと考えております。

教育推進課（児童生徒担当）

教職員課

2 家庭の経費負担を増やさないため、全道・全国大会出場時の遠征費補助の維持、増額を希望いたします。

今後も充実した部活動の実現を目指し、引き続き遠征費補助の維持に取り組んでまいります。

教育推進課

【学校運営に関して】

1 スムーズな入進学を支援するため、幼小中学校の交流や連携事業の一層の充実を希望いたします。

子どもが入学・進学する際に、新しい環境での生活や学習に円滑に移行・接続できるよう、校種間の連携を図ることは大切であると考えており、新たな札幌市教育振興基本計画における基本施策の一つに「学びの場の連携の推進」を掲げ、幼保小連携推進協議会を設置して連携を図るほか、小中学校間の連携の在り方に関する実践研究を継続的に行っているところであり、この成果を広く各学校に普及啓発を図ることなどを通して、幼小中学校の交流や連携の充実を図ってまいります。

教育推進課（教育課程担当）

【いじめ問題に関して】

1 いじめの早期発見、早期対応を図るため、いじめ調査結果などに基づく、きめ細かな対応と各種対策事業の更なる充実を希望いたします。

いじめの問題については、未然防止と早期発見、早期対応が重要であり、各学校においては「悩みやいじめに関するアンケート調査」の実施などをとおして、いじめの早期発見、早期対応に努めているところです。また、子どものいじめ・自殺予防対策総合プロジェクト事業などにおいて、「命の大切さを見つめ直す月間」を設定するなどして子どもが気軽に相談できる教育相談体制の構築や子どもが主体的にいじめ根絶等の取組を進めます。また、教師用いじめ対応の指導資料を作成するなどしていじめ対策をさらに充実させてまいりたいと考えております。

教育推進課（児童生徒担当）

【安全・安心に関して】

1 家庭や地域との連携による防災体制を確立するため、学校防災マニュアル等の周知徹底を希望いたします。

教育委員会として災害時の安全を確保するため、札幌市危機管理対策室及び区役所等関係部署と連携を図り、学校、家庭、地域が緊密な連携のもと、防災体制を確立することができるよう、学校防災マニュアル等の定期的な見直しも含め、周知を徹底してまいりたいと考えております。

教育推進課（児童生徒担当）

2 安全・安心な通学路を確保するため、整備に向けた働きかけの強化を希望いたします。

教育委員会としても、通学路の安全確保に向け、冬期間の除排雪を含むハード面での安全対策について、道路管理者や警察等の関係機関に対して通学路の状況に応じた安全対策を講じるよう、引き続き要請してまいりたいと考えております。

学校施設課

【幼稚園に関して】

1 預かり保育を利用しやすくするため、全幼稚園における利用条件の緩和と時間延長の早期実現を希望いたします。

26年10月より清田区を除く(清田区しんえい幼稚園は27年4月より幼保連携型定こども園へ移行)9園で、就労等、多様なニーズに対応可能な預かり保育を開始したところです。

今後も幼児や保護者にとってより良い預かり保育になるよう、利用状況を見ながら検証を続けてまいります。

教育推進課 (幼児教育センター担当)

2 園児の登園、降園時の安全・安心のため、駐車場の確保に向けた環境整備を希望いたします。

市立幼稚園では、園バスや駐車場が無いことをご理解のうえ入園していただいております。

しかしながら自家用車で通園せざるを得ない家庭もあるため、駐車場の確保等については、各園の実情に合わせた対応に努めているところです。

学校推進課 (幼児教育センター担当)

(2)施設設備に関して

【トイレに関して】

1 誰もが利用しやすいトイレを実現するため、全幼小中学校における洋式化のより積極的な実施を希望いたします。

現在、トイレは全面改修により、「暗い・臭い・汚い」という、いわゆる3Kの解消と同時に洋式化を図っておりますが、今後は便器の取り換えのみの改修も取り入れ、洋式化のスピードアップを図ってまいりたいと考えております。

学校施設課

【バリアフリー化に関して】

1 誰もが安全かつ円滑に利用できるようにするため、全幼小中学校におけるバリアフリー化の早期実施を希望いたします。

学校のバリアフリー化につきましては、改築や大規模改造等の際に整備を進めており、車いすを使用する児童生徒が転入学した際には、その都度整備を行っております。

なお、今年度、スロープの有無や設置場所等について、全校調査を行う予定であり、今後はその結果も参考にしながら、学校のバリアフリー化をさらに進めてまいりたいと考えております。

学校施設課

(3) 予算に関して	
【教育関連予算に関して】	
1 教員が子どもたちと向き合う時間を確保するため、教育関連予算を削減しないよう札幌市および関連機関に対し、積極的に働きかけていただくよう希望いたします。	本市の厳しい財政状況の中、教育委員会としても、より充実した教育環境の実現を目指し、今後とも必要な予算の確保のため、関係機関に働きかけていきます。その際には、貴協議会や教育現場等からの御意見を反映させたいと考えておりますので、今後とも御理解と御協力をお願いします。 総務課
【読書活動推進事業に関して】	
1 児童生徒に豊かな読書環境を提供するため、読書活動推進事業に係る予算の更なる増額を希望いたします。	本市の厳しい財政状況の中においても、子どもたちの読書活動を活発なものとするよう、今後とも必要な予算の維持、確保に努め、学校図書館の蔵書充実を図ってまいります。 また、学校にいながらにして、市立図書館の蔵書を直接貸出・返却することができる「ブックさあくる事業」(別添、資料のとおり)も実施しております。ぜひとも、ご家庭からも「ブックさあくる」活用の働き掛けをお願いいたします。 学校図書館地域開放事業についても、読書活動の推進に欠かすことが出来ないものと考えております。委託基準の見直しなども行いながら、事業の充実を進めていきたいと考えております。 学校施設課 生涯学習推進課
【PTA活動に関して】	
1 現状の基盤維持および強化のため、今年度と同様の助成を希望いたします。	貴協議会が行う学校・家庭・地域等との連携による教育力向上の取り組みや子どもの健全育成のための諸事業は、本市の社会教育施策に大きく寄与し欠かせないものとなっており、今後ともその支援に力を尽くして参りたいと考えております。 しかしながら、本市の財政状況も厳しさを増しており、今後、補助基準額や補助対象経費などの見直しを求められており、自主財源の確保や組織運営の効率化など一層の財政基盤の強化、効果的な活動を進めていただきたいと考えております。 生涯学習推進課